

EVカーシェアリング「LEEV」の社内実証実験開始について

ローカルエナジー株式会社（代表取締役：加藤典裕）は、米子市・境港市・株式会社山陰合同銀行とともに、環境省「第1回脱炭素先行地域」（令和4年4月）に選定され「地域課題解決を目指した非FIT再エネの地産地消と自治体が連携したCO₂排出管理によるゼロカーボンシティの早期実現」に取り組んでいます。

今回、その一環として取り組んでいる、化石燃料車の電気自動車（以下、EV）への移行に向けて、その方策の一つであるEVカーシェアリングを見据えた、EVカーシェアリング専用アプリ「LEEV（リーブ）」を開発しました。

このたび、当社では、「LEEV」を用いたEVカーシェアリングの社内実証実験を開始しましたのでお知らせいたします。

1. 専用アプリ「LEEV」開発の背景

当社は、脱炭素先行地域における民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の取組として、米子市や民間企業とともに公用車等のEV化に向けた方策を検討してまいりました。

その方策の一つとして、EVカーシェアリング事業の可能性を検討しています。

EVカーシェアリング事業は、広く地域の皆様に対するEV利用のきっかけづくりやEV認知度の向上を図ることが期待されるとともに、手軽な移動手段として住民サービスの提供が可能になると期待しています。

一方、EVカーシェアリング事業においては、車両予約や鍵の管理、EVのバッテリー状態の把握等が求められます。

当社は、これらの管理等を効率的に行うために、EVカーシェアリング事業における専用アプリ「LEEV」を開発いたしました。

2. 専用アプリ「LEEV」の概要

「LEEV」では、EVの車両予約や鍵の管理の他、EV充電時のピーク制御が可能です。

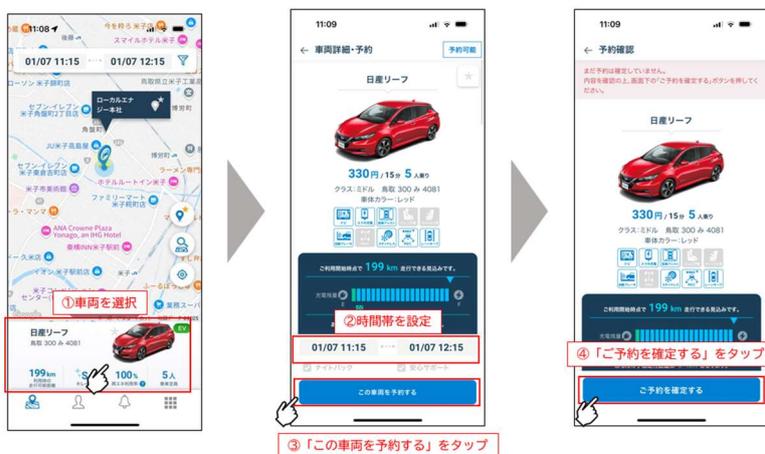


図1 車両予約画面イメージ



図 2 車両返却・施錠画面イメージ

3. 社内実証実験概要

本実証実験では、当社従業員を利用者として、社有車（EV）利用予約や鍵の貸出・返却、そして充電時のピーク制御等の管理を「LEEV」を用いて行い、その社有車（EV）利用の効率化や充電時のピーク制御の有効性等を検証していきます。

また、今後、本実証実験を通じて得た知見・ノウハウを活かして、動く蓄電池としてのEV活用の可能性を検討し、脱炭素先行地域へ貢献していきます。

【社内実証実験項目】

- ① 充電時のピーク制御
当社駐車場に駐車時に、当社ビルから社有車（EV）に充電。当社ビルの電力需要が多い時間帯は、社有車（EV）の充電を停止する等、当社ビルの電力需要のピークを抑えるように制御。
- ② 車両管理の省力化
平日、当社従業員が社有車（EV）を使用する際は、「LEEV」にて車両予約。また、休日、当社従業員が福利厚生の一環として使用する際も、「LEEV」にて車両予約。鍵の解錠・施錠を「LEEV」で実施することにより車両管理を省力化。鍵の紛失や盗難被害の防止も期待。
- ③ 災害時の非常用電源活用
災害による停電等が発生した場合、社有車（EV）のバッテリー状態（容量）を確認し、非常用電源として活用（動く蓄電池として地域に貢献）。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

ローカルエナジー株式会社 電力事業部
 担当：伊藤・石倉
 TEL：0859-57-5415/FAX：0859-57-6827
 e-mail：localenergy@lenec.co.jp